

労働交建 かながわ

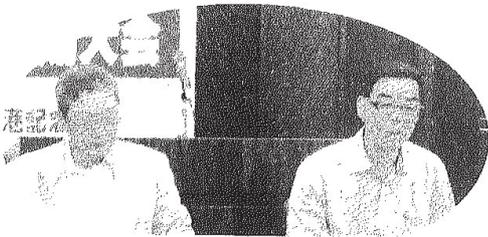
発行 建交労神奈川県本部機関紙部
〒 231-0025
横浜市中区松陰町2-7-17
リバーハイツ石川町304
☎ 045-662-2340
FAX 045-641-5453
Email ctg-kana@jasmine.ocn.ne.jp

建交労神奈川県本部 第19回定期大会開催



主催者挨拶を行う伊藤委員長

10月22日、横浜開港記念会館に於いて開催された。開会あいさつに立った斎藤書記次長はこの1年間、働く者の要求実現と平和への問題などかつてないたかいかいを進めてきたが、アベノミクスで大企業はますます栄える一方、働く者の生活は一向に良くなっていない。将来における年金・医療など社会保障における不安が渦巻いている。今日は総選挙の投票日であり決して棄権することのないようにと訴えました。



議長団の鉄道佐々木氏、県南佐藤氏

続いて大会議長団の選出に移り県南支部の佐藤代議員と鉄道の佐々木代議員が満場一致で承認され、議長団は早速大会諸役員の任命を行い議事に入りました。

神奈川県本部伊藤委員長は、今日の投票日は憲法を守り憲法を活かす政党を選択することが大事なことでありと強調し、大会方針について特に重要な課題となっているのは建交労神奈川県本部の組織拡大問題だと指摘しました。

中央本部 相木副委員長は

来賓あいさつの先頭は建交労中央本部の相木副委員長が、今日は日本の将来を左右する大事な投票日であると前置きし、市民と野党の共闘を積極的に取り組んできた成果を職場や地域で生かしていくことと、これからも前向きに取り組んでいくことが重要だと熱く訴えました。

組織拡大では昨年から



中央本部相木副委員長

労働相談ではヤマト運輸が大きな影響を与えているが賃金不払いはいまだ続いており、働き方改革も安倍内閣主導の改革ではなく、わたしたち労働者の立場に立った改革が必要であると強調。今日は総選挙の投票日であり、同時に川崎、鎌倉の首長選挙も取り組まれており、今後の国会は憲法問題が大きなキーワードとなってくるのはまちがいない。

アンケートを広げることが

いま社会に対し不満と不安をつのらせ、声を出したくても出せない人たちにアンケートを広げることとは大事なことであり、神奈川県労働連はホームページでアンケートに参加できる態勢を取ったところ、約70名の人がたちからのアンケートが寄せられている。その中で今の職場を辞めたいと答えたのは40%となっており、賃上げ要求では657万円と言う声が届いている。

神奈川県労働連 住谷副議長は



すべての働く者の労働条件改善に向けて共にがんばりましょうと連帯の挨拶が送られました。

2017年度運動方針案の提起を

2017年度運動方針案の提起を
 経過の特徴について、情勢の特徴は今年7月7日核兵器禁止条約が確立され、人類史上初めて核兵器が違法化されるといわれる。画期的な条約が締結されたことである。

強大な組織確立に向けて

戦後の日本の重要な節目に19回大会を迎えているが強大な2000名組織の確立に向けて大きく前進しようと方針の提案



に入りました。

しかし日本は世界で唯一の被爆国でありながらこの条約に参加せず世界の流れに逆行するといふ恥ずべき態度をとり続けている。

一方で北朝鮮の核開発が日本と世界に対する大きな脅威となっている。

安倍首相は北朝鮮に対する圧力一辺倒で緊張感をあおっている。危険なのは偶発的な軍事衝突であ



り自衛隊が集団的自衛権を行使してアメリカと一緒に戦争を起さかねないという不安を国民に与えていることである。

国民的共同の広がり

労働法制改善や社会保障削減など労働者・国民の置かれている状況など神奈川県内の情勢にも触れ

ながら国民的共同の広がりを引き続き追及しながら賃金・雇用・労働条件改善のたまたかについて報告がされ、そのためには何としても組合員拡大・組織強化の取り組みが必要であると具体的たまたかの提案がされました。

午後からの討論ではダンブ支部の稲川代議員が誘いあい交流を深めることで組織拡大を進めてい

る。同時にダンブ労働者に対する宣伝行動やダイレクトメールを利用した呼びかけを取り組みながらあらゆる課題を追及していく中で組織拡大を進めていく決意が報告されました。

三昭運輸分会は、来年結成10周年を迎えるが、社労士による労使間交渉への介入によつていろいろ困難を極めているがストライキや教宣活動の強化をめざして活動している。

会社側の同交拒否など不誠実な対応に対して全組合員が結集して今後とも運動を進めていくので県本部にもいろいろ力を貸してほしいと報告が。



いま重要な課題を持つて組織拡大に取り組んでい

現状の組織状況は他数が65歳以上という高齢化が進む中、諸行動の参加が困難になっている。

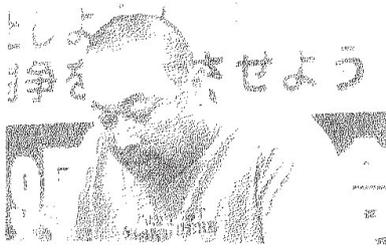
組合員の置かれている職場状況などを把握するための定期的な職場集会を計画しながら現場力を発揮した組織拡大運動に取り組んでいきたいと決意を述べました。

語られました。来年以降の大会にはぜひ若い人が参加してほしいと呼びかけるとともに核兵器廃絶に向けたたたかいに労働組合の歴史に学んで積極的に打って出ようと呼びかけました。

高橋書記長はまよめの

答弁で、代議員から出された前向きな組織拡大についての意見に対して、地域や職場で積極的に対話を進めるためにアンケートや署名宣伝行動が重要だと強調し、県本部として今後1年間皆さんと共に奮闘していく決意を執行部答弁としてされました。

すべての議案が満場一致で採択された後、大島副委員長長の閉会挨拶に続き清野執行委員による団結ガンパローで成功裡に終了しました。



県南支部赤羽代議員は今年8月7日から9日に開催された原水爆禁止世界大会に皆さんからのカンパで参加できたことに謝意を述べるとともに、台風が接近するなかでのフライトだったのでとても不安だったと報告しながら、今回は7月に核兵器禁止条約が採択されたこともあって非常に活気のある大会になったと感動が

